

● 神戸 つ子トラベルコーナー

★古代ギリシアの栄光とエーゲ海の休日16日間

日程／8月14日～8月29日
費用／¥48,800

大阪～成田～アテネ～メテオラ～

デルフィ～オリビア～ナウブリ

オン～アテネ～ビレウス～ミコノ

ス～ビレウス～アテネ～アムステルダム～成田～大阪～柘植～雄教

授(関西学院大学)が同行します。



青と白の風景

大阪 (オプショナルツアーハイ) お問合せ・お申込みは日本旅行三

宮営業所 電話番号 241-1881
兵庫県ハバロフスク親善訪問団

A・日程／7月21日～7月27日
費用／¥29,800

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～レニングラード～モスクワ～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～ヘルシンキ～ストックホルム～パリ～大阪

B・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～ヘルシンキ～ストックホルム～パリ～大阪

C・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～ヘルシンキ～ストックホルム～パリ～大阪

D・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～ヘルシンキ～ストックホルム～パリ～大阪

E・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～ヘルシンキ～ストックホルム～パリ～大阪

F・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

～モスクワ～ヘルシンキ～ストックホルム～パリ～大阪

G・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

H・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

I・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

J・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク

K・日程／7月21日～8月4日
費用／¥38,900

神戸港～ナホトカ～ハバロフスク



パタヤビーチ

お問合せ・お申込みはドッドウエ

ルトラベルサービス (新百合ヶ丘)

通8-9-6 明治生命ビル

電251-0021

★初秋のヨーロッパ12日間

美しい二つの国・イタリア・オースト

リア、そしてベリ・ローマをめぐ

ります。雄大な大自然を背景に壮

麗な歴史の重みを、軽やかなヴィ

ンナーワールドと香り高いワインと

共に楽しめます。

日程／8月21日～9月1日
費用／¥47,600

大阪～ローマ～ヴェニス～ザルツ

ブルク～チューリッヒ～インター

ラーケン～ユングフラウ～バリ～

ファミリーな雰囲気の明るい店。軽いお食事のメニューもあります。



COFFEE HOUSE

フレンチ

8:00AM ~ 11:00PM 無休

国鉄元町駅東口山側

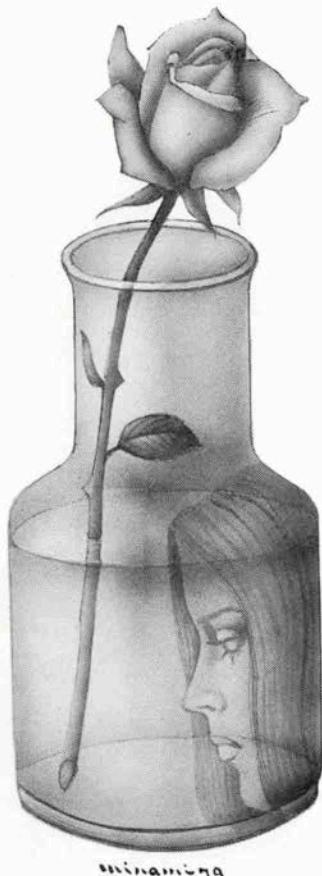
TEL 331-4376

西 口 東 口 三宮

夢の消滅

最終回

大原由記子 え・南 和好



夜中近く喚く声で実桜は目をさました。甲高い声は冴子で鈍いハスキーナ声が一央であることはすぐわかつた。何やら言い争っていることが自分のことであることもすぐわかつた。

「あのままじやいけないよ。九度の熱がここ三日続いてる。医者を呼ぼう。」

「だめよ。ここに他人を入れちゃあ。」

「じゃ君が直せると言うのかい。」

「ええ直せるわ。」

「ぼくにはそう思えない。Mは君の薬をちゃんと飲んでるが、少しもよくならない。かえつて悪くなつての気がするよ。」

実桜はふらりと居間のドアを開けた。きいつという金

屬音が二人をふりかえらせた。冴子は実桜を暖炉の前に坐らせた。実桜は冴子の煙草を取つて吸つた。

「Mに選ばせましょうよ。ここにいるかお医者さんになかかるか。」

実桜は気持よさそうに白い煙を吐いた。

「ここにいるわ。」

「君たちはどうかしてるよ。」

一央は怒ったようにドアを閉めて出ていった。

実桜は熱っぽい体を冴子のベッドに横たえた。
ンジユースにぱらぱらとふつた。

「これほんとに薬なの。」

実桜は光の加減できらきら輝く粉を見詰めた。

「じやなかつたらどうするM。」

実桜は上目使いで冴子を見ながら、ぐくりとジュースを飲みほした。

「なんだつていいわ。」

実桜は物憂そうにグラスを冴子に渡し窓の外を見た。何か鋭い視線が雪の降る彼方から、一挙一動を観察している気がして窓辺に立つた。しかし闇のむこうはどこまでも暗く、冴子の部屋が写っているだけだった。

「どうしたの。」

冴子は実桜の肩に手を置いた。

「佐野恵よ、きっと。」

「M、熱のせいよ。彼の夢でもみたんじゃない。」

「そうね。あの杉の下で夜が明ける前から立つてたのよ。いつも着てたグレイのコートに白いジーンズで。きっと彼がいたあたりには吸い殻が残つてははずよ。」「さあ眠りなさい。夜が明けてあなたたかな日が射すまで、春まで眠つてもいいのよ。その頃にはすっかり楽になつてるわ。」

実桜は呪文のように繰り返す冴子の言葉を、うつろになる意識の内側で聞いていた。柔らかな言葉が実桜の首もとに絡まりじわりとしまる気がした。しかし苦しみはなく奇妙な甘さがまきつく。きっと薬のせいだと実桜は思う。麻薬常習者がいとも簡単に酔いの世界にもぐり込んでしまうように、酔い醒めにどんな悪夢が待つていて、実桜は冴子の膚にもぐり込んでしまう。苦痛さえも甘美なよろこびに変る。快と不快は何かの拍子にはくとりと変る。その脆い境地でいつも冴子を待っている。否冴子を待つてゐるのではなく実桜の中でその瞬間まで眠つてゐる自分しさを待つてゐるのかもしれない。凍結された。いつも冷たく振るまつてたからこそ、Sの一瞬のやしさがただやさしいだけの人よりは、はるかにきらりと光る。きっとSのように真から冷たい人間にしか、温かさはわからない。大抵の人間はいいかげに冷たくいいかげんに温かい。

体の表面がぬるぬると湿つていて。肌着が汗を吸つて

かばかばしていた。毛布が熱気をはらんで重いのを、実桜はやつとの思いで持ち上げて水差しをのぞいた。唇が乾いていた。熱い胃袋に神経が集中しすぎていた。冷たい水、一滴で熱さからもだるさからも開放されそうな気がしていた。しかし水差しは軽く一滴の水もなかつた。廊下に出た。一央の部屋から光が洩れていた。まだ絵が仕上がっていないのか徹夜が続いていた。いつも五時近くなると一央は実桜の部屋にやつてくる。音もたたずに寝顔をのぞいて帰つていく。ただそれだけの日々がもう四日続いている。まだ怒つているのかろくに口もきいてくれないが、昼食と夕食を用意して枕もとに運ぶ。実桜はよろけながら冴子の部屋の前を通りすぎる。灯が消えていた。今日も帰つていいない。実桜は戸に顔をすりつけた。すべすべした冷たさが頬にすうつと伝わる。どうして帰つてそばにいてくれないんだろう。切なさが胸に広がる。もうSにはMがいらなくなつたのだろうか。眠むいときには体を冷さないようにおける毛布と同じくらいの価値でMを抱いたのだろうか。実桜は眩暈におそれながら、ざるざると壁にもたれて坐つた。ふふ、おかしさが広がる。飽きないつて事があるだろうか、どんな美食も三日続ければ嫌気もさしてしまう。走馬燈のように冴子の姿が浮かぶ。きつい目差がふうつと安らいで冴子の目が微笑む。どうしていつも追いつめるのだろう、とことん逃げ場のない位置まで。実桜は訳もなく涙を流した。悲しい訳でもなかつた。まだこんなに水氣が体に残つていることが不思議だった。熱い体からふき出す涙は氷のように冷たい気がした。涙のせいで体温がすうつと空中へ流れこんでいく。

Sは誰よりも冷たく誰よりもあたたかくMを包んでくれた。いつも冷たく振るまつてたからこそ、Sの一瞬のやしさがただやさしいだけの人よりは、はるかにきらりと光る。きっとSのように真から冷たい人間にしか、温かさはわからない。大抵の人間はいいかげに冷た

実桜はゆっくりと立ち上った。蛇口を思いつきりあけて水を出そう。しかしどうして台所へ行くのだろう。一瞬記憶がとぎれていてなぜ廊下で立っているのかわからなかつた。喉の乾きは失せて熱い体を寒さがゆつくで暮らしていける強い女だよ。」

「磯村冴子には誰もいらない。君だつて必要ない。一人で暮らしていける。」「佐野恵が白いセーラーを夕陽で赤錆色に染めながら言う。なぜか恵の顔がわからない。表情がつかめない。きっと夕陽がまぶしすぎるのだ。眼底に赤黒く光が広がる。闇のなかにいるはずなのに足元が見えないくらい明るさが膨脹する。夕陽はやさしくて弱々しいはず。だのにこの激しさは。

「恵、Sはね、一人では歩くこともできないくらい弱い女よ。」

しかし恵の姿はもうどこにもなかつた。ただ明るさが媚びるように少し目のなかにあつた。意識がふうつと明るさに吸収されるとあとは闇同然だった。

「どうしたんだ。」

低い声が鼓膜をふるわせていた。しばらくは声にならずただ空気がふるえているようだつた。目を開けると一央に抱かれていた。

「いつまでこんなこと、繰り返すつもりなんだ。ぼくは明日ここを出て行く。あなたはどうする。」

実桜はだるそうに体を起こしふらりと一央から離れた。

「なぜ私を一人にしておくのよ。きっとあなたは後悔するはず、でももう遅い。私はなるよう流されるだけ。ノンとは言えないもの。」

実桜はガラスにはあつと息を吹きかけて小指で書いた、Kといつしょに行くと。

磯村冴子はドアの隙間にさまれていた金色のカードをみつけた。裏には小木一央の判が押されていた。「一

陽会」の招待状であることが、カードを捨い上げた瞬間にわかつた。雪の日々に育てた愛が今一枚の絵に復元されようとしている。

冴子はカーテンを引いて庭をのぞいた。桜草が黄色い花をつけていた。ふうつと深呼吸すると冷たい風のなかに少し混りはじめたさが春をつげていた。窓を開けるなんて何日ぶりだろう、と冴子は思った。実桜といつしょにこの窓から雪景色を飽きもせずに見詰めていたのは、そんな遠い日の事ではなかつた。どうしているのだろうか。昨週一央に会つたときも実桜のことを聞きそびれていたし、一央も聞かれるまでは話すつもりはないらしい。

「あなたは何があつても変らないって感じだな。」

一央の言葉が耳元に絡まる。低い声を何度も遊ばせて、冴子は金色のピアスを耳につけた。そして実桜と香りを半分にした香水を頸にふつた。もしかすると実桜に会えるかもしれない。かすかな期待が冴子の手の動きをいそがしていた。

冴子はハンドルを握りながらゆく景色に実桜への想いを脱落させていたはずだつた。

「愛なんてどこにも育つてなかつたのよ。錯覚だつたのよ。」

しかし実桜は顔色も変えずに答えた。

「私が愛しているのは自分自身だけ。自分自身の皮肉な人生だけ。」

冴子は煙草に火をつけた。狭い車内に煙が不機嫌な実桜の溜息のよう広がつた。

そういうかきつとあなたに私への招待状を書こう。そしてあなたはまた私をノンとは言わずに受け入れるだろう。ノンと言わないことがどんなに傲慢なことか、あなたは知つているのだろうか。子供っぽい笑みで「そうね、そうするわ」と肯定することが、どんなに残忍なことかあなたは本能的にわかっているはずだ。笑窪を作つてふうと笑うあなたの顔が、冬の陽よりも冷たく凍ること



を私は知っている。きっとその一瞬、なよやかな仮面の下の真顔がちらりと表われるのだろう。ブレイキを踏む。危く子供を轢くところだつた。丸顔の少女がアーケードの下に駆けていった。きゅうんという摩擦音で買物をしていた主婦が気がついたように自分の子供を捜している。

不意の事故か偶然であなたがこの世から存在しなくなつたら、どんなに気が楽だろうか。あなたはもう何度も死にかけていたのに、執着のないあなたはいつもふらりと今世にもどつてしまふ。もどつて罪を重ねてしまう。そしてその度に透明になっていく。

「背徳を知らぬ娘が聖女ではないのよ。本当の聖女はいかななる不道徳、悲劇のなかにいるときでさえも優雅に存

在する女のことよ。決して罪の匂いをさせてはいけない。罪の匂いなんては今の世では安物の香水と同じ。品を落としそぞれ魅力にはならないのよ。」

実桜は目を輝かせながら聞いていたが、ボーカイがロゼを置くとうつろな視線をグラスに落とした。もう聞いてないのかと冴子は思う。集中するという行為がどうもあなたは苦手なのだ。懸命にとか真剣に何かをする人間の下品さをあなたは心のどこかで軽蔑している。あなたはそんなつもりではなくても、回りの男たちは会話の途中で意味もなく窓の外のはるか遠くを見詰めるあなたに、軽く軽蔑された気がしてしまう。そしてあなたの目差しの彼方には何があるでもなく、ただ漠然と広がる闇があることを知ったとき男たちは愕然とする。ソファーにだらりと凭れたあなたが退屈しているのではないかと氣をもみ、何らかの意味を求める漠然としたあなたの愛の虜になつてしまふ。

冴子はふふっとふき出して煙草の火をねじつて消した。バックミラーに映つた冴子の目も笑っていた。実桜と同じ目の輝きであることがよけいにおかしかつた。

冴子は地下の駐車場からエレベーターで七階まで上がつた。ひよつとすると実桜も來てるかもしれない。軽い期待が冴子の胸の鼓動を速めていた。しかし期待が現実へと變るめくるめく瞬間があるとは思われなかつた。こんな偶然の形で会うことがどこかでためらわれることも確かだつた。

すうつとドアが開らくと「春から冬へ」と題された長四角の会場が目にとびこんだ。

春から冬へと逆もどりするのか、冴子は楽しそうに受付の一央と同じ年ぐらいの男を見つめた。二十人そこそこの空間には小木一央も片瀬実桜もいなかつた。いつしょに考えることがおかしいとも思えた。いつしょにいるとは限らないのだから。

黒っぽい色彩が多い右の空間が「冬」をテーマに、左の白っぽい空間が「春」をテーマにした絵が並んでい

た。ちょうど両方の真中あたりに冴子は立っていた。そこには籐のテーブルと椅子がいくつか用意されていた。右側へゆっくり歩いていった。

沈んだ色のなかに狂氣を内包している絵が並んでいた。ギュスター・モローのサロメのように宝石箱をひっくりかえしたような宮殿に立つきらびやかな少女を描いたものもあった。いずれにせよ春のほのかな光からは遠い人工的な輝きに魅入られたイメージの産物が多いようだった。

冴子は一央の絵を捜すこと忘れはじめていたとき、はっとする思いで白っぽい絵の前で足が止まつた。暗さに目が慣れてくると白さは強烈すぎてはしかれる思いがした。やがてその絵の持つている静かな遺いが冴子の皮膚になまなましいくらいに触れた。空間の上 $\frac{1}{3}$ は遠くの山並やまばらな人家が吹雪いている雪のまにまに見えている。雪がびゅうびゅうと風を白く染めているようだ。しかし目を下に移すにつれて雪はおとなしくやさしく積つていった。白い雪の寝床に重なり合う二人の女を見つけるまで、そんなに長くからなかつた。それがSとMであることは明らかだった。SはMの頭を抱き上げ、Mは右手でSの乳房をつかみ左手をSの腰に回していった。膚の火照りと汗が細かく描かれすぎて、思わず冴子はコートの襟をつかんだ。禁断の木の実をざくりとかじりついた瞬間をのぞかれたように、じりじりと一央の目が冴子の存在を犯していくようだった。しかしそれは蜜をいきなり舌にのつけたところとした渋味のある感覺に似ていた。痺れが口いっぱいに広がると甘みはうそのようになってしまった。冴子は蜜の味を思い起こしていた。膚のきめの細かさ、丸み、かたさ、それらはSとMの体を知りつくし愛撫した手しかしないやさしさと残忍さに包まれていた。冴子はドキドキ乱れ打つ心臓の音を聞いた。

しかし二人の女の表情はむしろロマンを否定していた。上空を仰いでいるMの横顔と薄く目を開けているS

の顔には、肉の熱っぽさよりもうつろに冴えていて悲しさが漂っていた。「無表情」に描くよりは「悲しく」描こうとしたのは一央の願いであったのかもしれない。女の体と表情に奇異な感じを観る者にいたかせるることは十分に成功していた。そして二人の女の腰のあたりから銀色の大木がにょきにょきと伸び、葉のない枝を血管のよう広げ虚空を持ち上げていた。二人の肉をつんざいてまで伸びた古木はいつたい何を意味しているのか冴子にはわかりかねたが、ただSとMとKのなかを流れているほろびの血のようなものがどくどくと音をたて死へと流れ込んでいるようにも思えた。死ぬことも生きることも飽きてしまった人間の内部にはびこる悪かもしない。しかしそれが一央の作為であろうがなからうが、冴子には関係ないことに思われた。

冴子は一つの物語が終ろうとしているのを感じた。ひよつとすると今はじまろうとしているのかもしれない。ある季節が終り、ある季節がそこまで近づいていることは確かだった。

ひときわ明るい窓辺に置かれたロベリアが薄い紫色の小花を幾重もつけていた。決して絵たちを引き立てることも、邪魔することもなく春をつげていた。

冴子は甘い予感に魅了されてプログラムをめくつた。
ナンバー36、夢の消滅、小木一央と記されてあつた。

(完)

□大原由記子／作家▽



□ 南 和好／洋画家▽



兼ねてから婚約中だったが、この冬、ゴールイン。目下、新婚生活で追われているといきやや、やつていることは自身のときと余り変わらないとか。作品の方は「夢の消滅」以降完成作はなし。しかし、書きつけたSFの舞台を企画、前衛的な面白い舞台装置を作りたいと意欲を燃やしておられます。ぜひご覧下さい。

talk and talk



<神戸っ子愛読者サロン>

★いつも「神戸っ子」挙説している。すっかり定着した重厚な中味と美しい写真、動物園飼育日記を今頃、一番おもしろく読んでいます。ときどき涙ぐんだりしながる読むことがあります。自然を相手にしている方の文章は、その技巧もないのに人に訴える愛情の強さのあふれる文体あって、いつも感激します。書いている方もおられる愛情の深さが伝わってくる感動と、動物の生態について知らなかつたことを教えられるだけだと感じました。神戸の街はどういうわけです。

★仕事柄、よく外國へ行くのですが、ふと「ここはどこだったっけ?」と思つこともあります。だけど神戸の街はどういうわけか、外國という雰囲気が強く日本の「外國」という感じですが。今日ハワイから帰ってきたばかりで頭も体も「時差ボケ」して、知らぬうちに天秤にかけてしまつたりとアロードあたりを歩いていたりと不思議なことに、まだ外國にいるような気分になって、神戸とはホントにいい街ですね。

▲西宮／中岡淳夫
★今の中、平和のかしら?
自身の考えた「現代の平和を象徴するもの」ベスト5。
①インベーダー ②ナイター
○投手 ③スーパーマン ④ディスコ ⑤女性週刊誌（次々暮れ族）ちょっとと途てるかな。けれどこんなこと書いてる私もやっぱ

り平和なのよ。【神戸っ子】つも楽しみにしています。がんばってください。

▲大阪／北村みず恵



素敵なカードが届きました

私がアリスを初めて見たのは7年前の神戸女学院の大祭でした。年その頃大丸の「フェスティバル」の中のビッグイベント「アリス・スインタキノ」では、「万人の若者たる熱気に包まれ日本一のパラマ大ステージにアリス施風が吹きあつた。とジョイントピープルに載っていました。そういう私は、

とても多くアリスの人たちに会

える機会が多かつたのですが、

近ではめったに神戸のコンサート

でポート・ジュビリーのグラビア

写真を見ました。

「アリス」の中でもしから

つたです。【神戸っ子】に毎年

思ひ出しますね。神戸っ子6月号

はありますね。

神戸っ子6月号

トにも出でてましたし、神戸でのコンサート

でボート・ジュビリーのグラビア

写真を見ました。

「アリス」の中でもしから

つたです。

【神戸っ子】に毎年

思ひ出しますね。

神戸っ子6月号

トにも出でてましたし、神戸でのコンサート

でボート・ジュビリーのグラビア

写真を見ました。

「アリス」の中でもしから

神戸の子と
出合う時

月刊「神戸
っ子」は思
いがけない
ところで：



小小楠貝鴨柏嘉嘉金小小岡牛榎石石乾砂赤青朝
曾比
泉磯本原居井納野根崎尾並阪野野 野尾木奈
徳良憲六 健毅正元一真 吉正春成信豊 兜重
一平吉一玲一六治彦夫造忠朗一生明一彦仁子雄隆

直外竹津高陳田田田武滝滝竹角砂塙新白佐坂後上
木島馬高橋 辻中宮田川川中南田路谷川藤井藤林
太健準和 舜聖健虎繁勝清 猛重義秀 時末英
之 郎吉助一孟臣子郎彦郎二郁夫民孝夫渥廉忠二

神淀行元百村光宮宮松福深畠野成南難中西西
戸川吉永崎上田地崎井富木澤瀬部波西脇村
百年会議長哉定辰正顕襄辰高芳惣專幸香圭
商店会議所治女正雄二郎司二雄男美吉郎梅三還親功

月お読みになり
にお申込みを。左の本屋さんへ
芦屋市光洋町
芦屋市月若町
国鉄本山駅北口
国鉄住吉駅北口
東灘区西宮
東灘区御影中町
阪急六甲駅2階
新開会館1階
葺合区布引町4
生田区古湊町1
さんちかタウン
センターハン
セントラル前

六甲オリエンタルホテル	六甲オリエンタルホテル
★大阪のホテル	★大阪のホテル
ホテルラグザ1Fロビー・キオスク	ホテルラグザ1Fロビー・キオスク
★京都／若王子	★京都／若王子
★ブティック	★ブティック
がれいや馬堀乃	がれいや馬堀乃
MA	マ
VIE	ヴィエ
魔女	魔女

後編集

ごあんない

後編集
★夏がやってきた。緑に包まれた神戸にもうひとつの魅力、リゾート感が濃くなっている。先日、久し振りに須磨海岸を歩いていた。砂が大量に入れられた海岸線が変るほどだ。
人工的に白砂の海岸をつくるのだから大変な事業である。これは宮崎島長の神戸「子」としての執念だろう。須磨を世界的なリゾートタウンにしてほしいものだ。(小川康夫)

★北野・塙屋、舞子と異人館を振り抜けた。運営がしてしまったもの。いずれそういう運命が待つもの。様々な歴史の証人たちとの出会いを絶えて、今月から神戸に住むエドワード・モンゼンの生活を拜見する。またも語学力が試されます。（中村雅子）

★久しぶりにステージを観たのが、『ジャズ、イン・コウ』。新田がとりませての演奏のなか、中本マリがすばやく、やっぽりいいもの聞くべきです。ね。（川崎啓一）

★吉告原稿を製作するとき、いつも一行のキャッチコピーに悩みます。『言葉を創る上で難いもの』です。田崎真珠のコピーは『男性が作っているうだらけで、どんな人かしらって思われるほど気になります。（岡田）

★歩きながらモノを考えるのは、上ヶ原の静かな学路を身についたよう。一〇〇周年への大きな歩みに嬉しい胸わざぎ。だけど、この三宮界隈がいいじょ、歩きながらの黙想は危険がいっぱいね。（中塚恵子）

★今月取材した某氏（本人の名前を名前は匿名）は、高所恐怖症だぞう。ボートアライドンでできるだけ転のジット・コースターにも乗れなくなっていてお氣の毒！（宮川光世）

balcon

collection
series
<72>ぐい呑み

服部 清美さん

(松蔭女子学院短期大学講師
(創造美術協会会員))

「こんなにぐい呑みを前にしていると日本酒好きにみえますが本当は洋酒の方が好きんですよ」とチャイナ服がよくお似合いの服部さん。御主人の曾祖父が竹裡館吟秋という九谷焼きの大家で、その作品三十点余りをもとに、各地を旅行された時、手軽に買えるぐい呑みの収集を始められた。細かな柄で美しい色彩の九谷焼きは絵を描かれる服部さんにとっても魅力のある大切な品々。珈琲を飲みながらいとおしそうに手にとられた。

さんプラザ店にて
カメラ/橋本英男



バルコン

★英國風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00

★コーヒーショップ センター街店
TEL 321-4626 AM 7:30~PM11:00

★コーヒーショップ 神戸亭 三宮センタープラザ店
TEL 332-6361 AM10:00~PM 9:00



氷鉢 冷しそうめん



煮物椀 造り氷室



フォアグラ煮凍

文月

懐石料理

この度私共の花くま路のお味を、広く皆様方に御賞味して戴きたいと存じまして、六月十五日よりそごう神戸店地下食料品売場におし、和惣菜のコーナーを開かせて戴きました。
ぜひ一度お立寄下さいまして御賞味旁々御指導御鞭撻の程心からお願ひ申し上げます。

花くま
鉢
神戸・花隈町
でんわ
(382) 0-11-11
協賛



日の出みりん

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
箕面区旗塚通7-5 トアロード店 伊藤ビル1F 231-6300
兵庫駅前店 575-5306

北海道郷土料理 蝦夷
生田区中山手通1-115 東門駅東門会館ビル1階 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F 331-0494

鍋もの・おむすび 悟味西
三宮さんちかタウン 391-5319
六甲店 822-3564

たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧柳筋) 331-0572

民芸御食事処 炭焼ステーキ
五事
元町3丁目山側 391-3156

活伊勢海老料理 中納言
神戸プラザホテル店(2F)阪神国鉄元町派 331-7918
神戸元町本店/國鉄元町東 392-1685

本格派日本料理 割烹吉本
生田区中山手通2丁目98(生田警察署西口前)
331-5817・392-2020

山菜料理 六段
国鉄三宮駅山側 231-0406

新和食処 あじびる
阪急三宮駅山側 332-3456

欧風焼鳥トロリドリ
生田区中山手通2-13 生田ソシアルビル 391-3028

★西洋料理

レストラン アボロン
ティーバーラー
箕面区八幡通5-6 251-3231

レストラン 皮(あらかわ)
生田区中山手2-9 221-8547・231-3315

ステーキハウス グリル青山
生田区中山手通2-112-2(トアロード) 391-4858

レストラン クイーンズコート
生田区山本通2丁目31 242-2469

ステーキ&神戸館
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F 321-2955

スカンディナビア料理 ゴックスタッド
と世界の民族音楽の店
生田区山本通3-18 回教寺院前 242-0131

佛蘭西料理 KARIN
神戸プラザホテル2F(元町駅南) 331-4558

Café et
Restaurant

アンドウトワ
生田神社西 伊藤ビル1F 391-8639

レストラン

セントジョージ
生田区北野町1-130 242-1234

レストラン

男爵
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F 241-0778

メキシコ小料理亭

ティイフアナ
生田区中山手通1丁目4-12 パールコーポラスピル1F
Restaurant & Lounge 242-0043

ボナペチ

生田区北野町3-49 BKフラグ1F
222-5300

ピザ・パブ

ピザ・パテオ
生田区元町通1-49(元町1番街)
331-9378

フランス料理

ビストロドゥリヨン
生田区山本通2-40-1 221-2727

maison de
la mode

花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 251-2109

ボリネシア料理
海賊焼

フィッシュヤーマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル 331-0301

レストラン

フック東店
生田区栄町1-5-3 321-3207

SELF-SERVICE
CAFETERIA

Beer House
三宮・生田新道 331-9554

グリル・鉄板焼

月
カフェパウリスタ
三宮・トアロード(パウリスタビルB1) 391-0061

ステーキハウス

れんが亭
生田区下山手通2-34 331-7168

BARBECUE
& STEAK

六
生田区元町通3 331-2108

レストラン

フック神戸店
生田区栄町2-24 321-3453

炭焼ステーキ

凱旋門
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F 321-3378

サンバと

コパカバーナ
生田区中山手通2-33-1 332-6694・6697

The grill

BOB(ボブ)
トアロード西山側
生田区北長狭3ファーストバブ2F 392-2500

CAFE RESTAURANT ふじい
生田区中山手通2-33-2 331-5485, 5235

ハイデルベルク
生田区山本通2丁目 ローズガーデン2F 222-1424

カブリオ
神戸三宮さんプラザB1F 391-5206

ぶはら
生田区中山手通1丁目19 クラン山手B1
241-7017

★喫茶
コーヒーラウンジ

ティー&スナック
City of City
生田区三宮町3丁目2-11 331-1117

工ポツク
生田区元町通3(浜側) 331-3694

喫茶
ガーデニア
生田区東町113-1 大神ビル1F
321-5114

宮水のコーヒー
にしむら珈琲店
中山手店 生田区中山手通1-70
221-1872・231-9524

センター街店 生田区三宮町2-35
391-0669

北野店 山本通2-9 242-2467
(会員制) 3F 事務所 242-1880

ピアノホール
バックスステージ
生田区三宮町1サンプラザ10F サンロイヤル
332-0230

珈琲モーツアルト
生田区山本通2-98グランドマンション1F
241-3961

ファッショナブル
ソーネ
キングスコート
ティーラウンジ ベントハウス
生田区山本通2-111 キングスコート内 242-7090

珈琲
生田区三宮町2丁目25(トアロード) 391-1589

★club
club 飛鳥
生田区中山手通1-117 331-7627

club 小万
生田区東門筋中島ビル3F 391-0638・4386

club さち
生田区中山手通2-75 331-7120

クラブ 千
生田区下山手通2-21 391-1077

club なぎさ
生田区北長狭通2-1 331-8626

クラブ るふらん
生田区北長狭通1-11-11 331-2854

club Moonlight
Club 331-0157 BAR 331-0886・391-2696

★STAND & SNACK

TEA & SNACK ブロッサム
加納町店 / 生田区加納町2ノ72 221-9182
北野店 / 生田区中山手1丁目24-1 ヒルサイドテラス
078(242)5000

PUB &
RESTAURANT アップランド
生田区加納町3-1-34 241-8271

サロン アルバトロス
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F 231-3300

DRINKING IS
AN ART OF LIFE ウッドハウス
生田区下山手通1-32 241-7320

ETエトワ TOI
生田区三宮町3-1 スカイアーバル3F
神戸アロード三宮センター街西入1F 332-1755

純会員制 エドワーズ俱楽部
生田区北長狭通1-28
ホワイトローズビル5・6・8F 生田新道
391-3300

SNACK プチおるごーる
生田区下山手通2/7 K.S.Mビル2F
078(332)2680

ナイトイン おしゃれ貴族
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1 242-1925

スナック 蘭の花
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F 391-4455

スタンド カテナ
生田区中山手通1-90 英健ビル1F
331-1316

キヤンティ
生田区北長狭通2-3 391-3060
北店スープとパンの店 生田区下山手通3-8-9
331-3661

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 331-4637

サロン 神戸時代
生田区中山手通1-28
モンシャトウカツキビル 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 331-2615

SNACK ROOM ホリデーインヨコハマ
東門筋紅馬車前三角ビル2F
392-1255

スナック ZOOO
国鉄三ノ宮駅山側 正家そばビル北側 三浦ビル4F
332-6015

ミュージック・ラウンジ サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2トア・ロード
391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイナイトプラザ6F 221-3886

スナックレオパルド
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F 391-0992

スネカジリッ子
生田区下山手通2永堀ビルB1
391-8708

珍地理屋
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F 242-0288

素舌洞でつさん
生田区北長狭通1-258 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区中山手通2-30-1 東門太和ナイトプラザ2F
331-5587

サロンパレス小姫
生田区加納町4丁目神三ビル2F 332-1098

SNACK シャングリラ
生田区中山手通1マリンビル1F 391-8941
グランプリ・中山手通1ニュー荷華ビル2F
391-4406

WINE &
RESTAURANT 酒夢猫
生田区中山手通1-76 神戸酒販ビル2F
332-3308

末広光夫の
ミュージックサロン
ティファニー
生田区中山手通1 241-1771

★喫茶
喫茶館 英國屋
神戸国際会館浜側 251-4562

喫茶館 葡萄屋
三宮センター街3丁目 391-9006

カフェ・ド
プランタン
国鉄元町駅東口山側 331-4376

珈琲館 煉瓦屋
国鉄元町駅東口山側 331-3667

喫茶専門チェーン 株式会社ミカド
コーヒー&
フレッシュジュース 三宮花時計北ハニービル2F
TEL. 331-9703

ヴアヴァン
農業会館B1
TEL. 333-5973

コーヒー&
フレッシュジュース ドン
国鉄三ノ宮駅北 日生ビル隣
TEL. 391-4686

★KOBE PLAY GUIDE MAP

神戸のうまいもん



菜彩多味道好



フアホイブトワイン

湯葉の風味を開けると…法海葡萄園〈精進料理〉

御影 別館 牡丹園®

御影本店 / TEL. 078(821)6666 阪急御影駅山側・御影ガーデンシティ 2F

11:00AM~9:30PM (ラストオーダー 9:00PM) 無休・駐車場完備

さんちかタウン店 / TEL. 078(391)1930

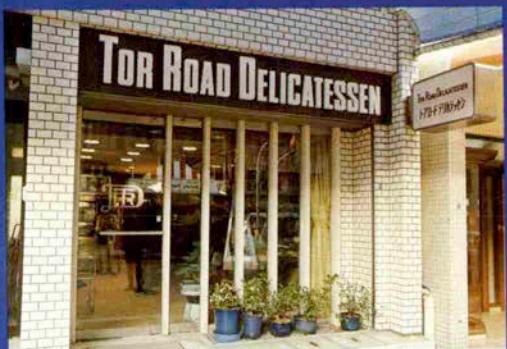
貿易センター店 / TEL. 078(251)5555

西明石店(新幹線西明石駅構内) /

TEL. 078(928)4013



上湯で煮込んだ冬菇・鮮菇
馬蹄・冬筍・蘑菇・小竹筆
などを油通しした生腐皮で
包み蒸しあげます。上湯で
味付けした発菜、生菜と共に
に盛りつけます。目の前で
腐皮の袋を切り開き、蠔油
で味付けたたれをかけて出
来上がりです。上品なごく
のある味わいをお楽しみく
ださい。(予約特別料理)



味に厳しい神戸っ子に愛されているデリカテッセン。ご自慢のサーモン・ハム・ソーセージを夏の食卓にどうぞ。
世界の食料品の店

トアロードデリカテッセン

トアロード ☎ 331-6535



盛夏に最高におしゃれな白を自信を持って着てほしいのです。北野町の緑の街並みと白いドレスがマッチして。
ブティック・コットンハウス（セントジョージのショーカラ）

感 BOUTIQUE 女 大里 最世子

異人館俱楽部3F ☎ 222-1773



夏到来。海がキラキラ輝いて呼んでいます。夏の海にはよく似合う各国のマリンファッショング揃いました。

Marine Boutique

GWASe

神戸国際ホテルショッピングアーケード ☎ 251-8161



緑に映えるジャケットスーツを着こなす山本憲徳さん。
お洒落の解る男性らしくこうしているだけでもサマになる。
紳士服

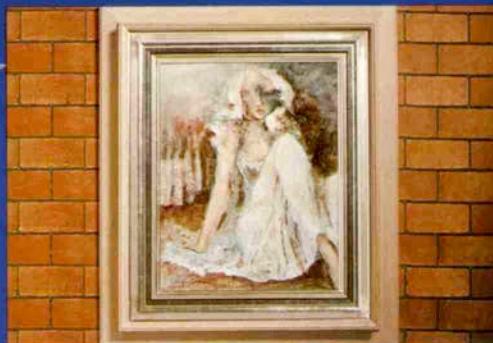
ADAM G 岡田 巖
兵庫区御幸通6御幸ビル6F ☎ 221-9314



HYU

銀河から

着地



豊富な種類の画材・額縁、美術用品を揃えた店。四季に合わせて絵と額の調和を考える——などいかがでしょう。

画材・額縁

末積製額

トアロード・大丸前 ☎ 331-1309



トア・ロードの赤い三角屋根が目印です。ポートレートやお見合写真を撮りたい方はどうぞご予約ください。
お見合写真(予約制)・ポートレート

三宮写真室

神戸トアロード筋NHK放送局北隣 ☎ 241-5530代



年齢をとわず、本物志向の貴女にべっ甲の髪どめはいかが?
暑い夏、髪どめのおしゃれですっきりと涼し気に。
べっ甲

太田べっ甲店

元町1番街 ☎ 331-6195

SUMMER SHOPPING



香り高い珈琲とサンドウィッチはいかがですか。元町五番館はハイセンスタウン元町のシャレたオアシスです。

駄菓子屋 元町五番館

元町1番街浜側 ☎ 331-1718(無休)



鮎塩焼、鯛薄造り、吸い物椀(卵豆腐、そうめん、蛇の目きうり)

季節料理



榮彌

本店 大丸前三宮神社東 電話 (078)331-5772
毎水曜休 営業時間11:30 A.M ~ 9 P.M
支店 さんちか味のれん街 電話 (078)391-5233
第2・3水曜休 営業時間10 A.M ~ 9 P.M

ゆったりした小部屋で日本料理をお楽しみ下さいませ



いずれも2階小座敷



竹素亭

神戸市生田区北長狭通1丁目1-5
でんわ078(331)1120代表



いつもの調子で、あなたがおおいに楽しんでください。
だって“金属”的主役は私でも僕でもないんですから。

金屬 bar KINZOKU

生田区中山手通1 ヒルサイドテラスB1
☎ 242-0124 日祝休



クラブのふらんでお世話になりましたチャコの店です。
落ち着いた大人のムードで、夏の夜をお過ごし下さい。



ひいらぎ

生田区下山手通2(生田新道) K.S.Mビル1F
☎ 332-5616 日祝休



晴れた日にはテラスでお食事を。さ、イタリア人のようにワインで乾杯。陽気に陽気に！

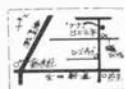
RESTAURANT PAPPAGALLO

生田区中山手通1 ヒルサイドテラス4F ☎ 242-6808
西宮店 / 西宮市南越木岩町2-19 ☎ 0798-73-6534



気軽な雰囲気のあるナナで、より楽しく過ごしていただ
くために、あなたの“美声”にギターの伴奏がつきました。
(リザーブ・¥4,800、レミー・¥10,000)

snack 77 nana



生田区中山手通1-91 第2辻ビル3F
☎ 332-1277 日祝休

SUMMER SONG

Love to me is like a summer day
If it ends the memories will stay

NIGHT IN KOBE

Still and warm and peaceful!
Now the days are getting long, I can sing my summer song.



コバカーナからサンバで湧きあがる神戸まつりに参加
サンバ好きのあなた、コバカーナは毎晩サンバ色です。

サンバとブラジル料理

COPACABANA

生田区中山手通2丁目33-1 ☎ 332-6694・6697
6:00PM～3:00AM 日曜休(祭日は営業)



The Best Things in Life are Music and Whisky.

Piano Hall BACKSTAGE

生田区三宮町1 さんフラザ10F サンロイヤル
☎ 332-0290 第1,月曜休
Coffee Time 11:00～6:00
Whisky Time 6:00～12:00



こんなに楽しい神戸の夜はめったにない。そんな気分になってしまふローズルームは、いつもバラ色の雰囲気。

Rose Room

生田区中山手通2 東門大和ナイトプラザ7F
☎ 332-2365・391-5044 日曜祭日も営業



おなじみサテンドールのバンドリーダー、ベースの渡辺 健蔵の結婚披露に仲間がたくさんかけつけてくれました。

JAZZ CLUB

SATIN DOLL

生田区中山手通1 富士産業ビル1F
☎ 242-0100 無休



五年目の古典料理

7月14日 5周年

グルメ
誰が神戸の美食家たちを
殺すのか!?
美食家殿、ご用心。
シェフよりの忠告

Menu de 14 Juillet 8,000円
7月13日・14日・15日 (税、サ、別)

Jardinier de la mer (オザキ、はたて貝、えび、ムール、アボカ、ハリコベ等の庭師風)

Galette de poisson Saucé tomate (魚のギャレット トマトソース)

Filet de bœuf farcie aux moussetine de poulet blanc (フィレ肉の肩と野菜のムース包み焼き)

Sorbet (シャーベット)

Café (コーヒー)

Suntory Wine 各種

神戸市生田区山本通2丁目40-1

Bistro de Lyon

TEL 078(221)2727

スパゲティ専門店



三宮店 ● 神戸市生田区三宮町 1-5 サンロイヤル神戸 10F (さんプラザ)

☎ 078-332-4551

営業時間 午前11時～午後9時